

令和6年度（2024年度）第1回 吹田健やか年輪プラン推進専門分科会

次第

日時：令和7年（2025年）2月10日（月）午後2時から午後4時まで

場所：保健センター

1 開会

2 案件

（1）吹田健やか年輪プラン策定にかかるスケジュール

（2）第9期吹田健やか年輪プランと年次報告について

（3）グループワーク

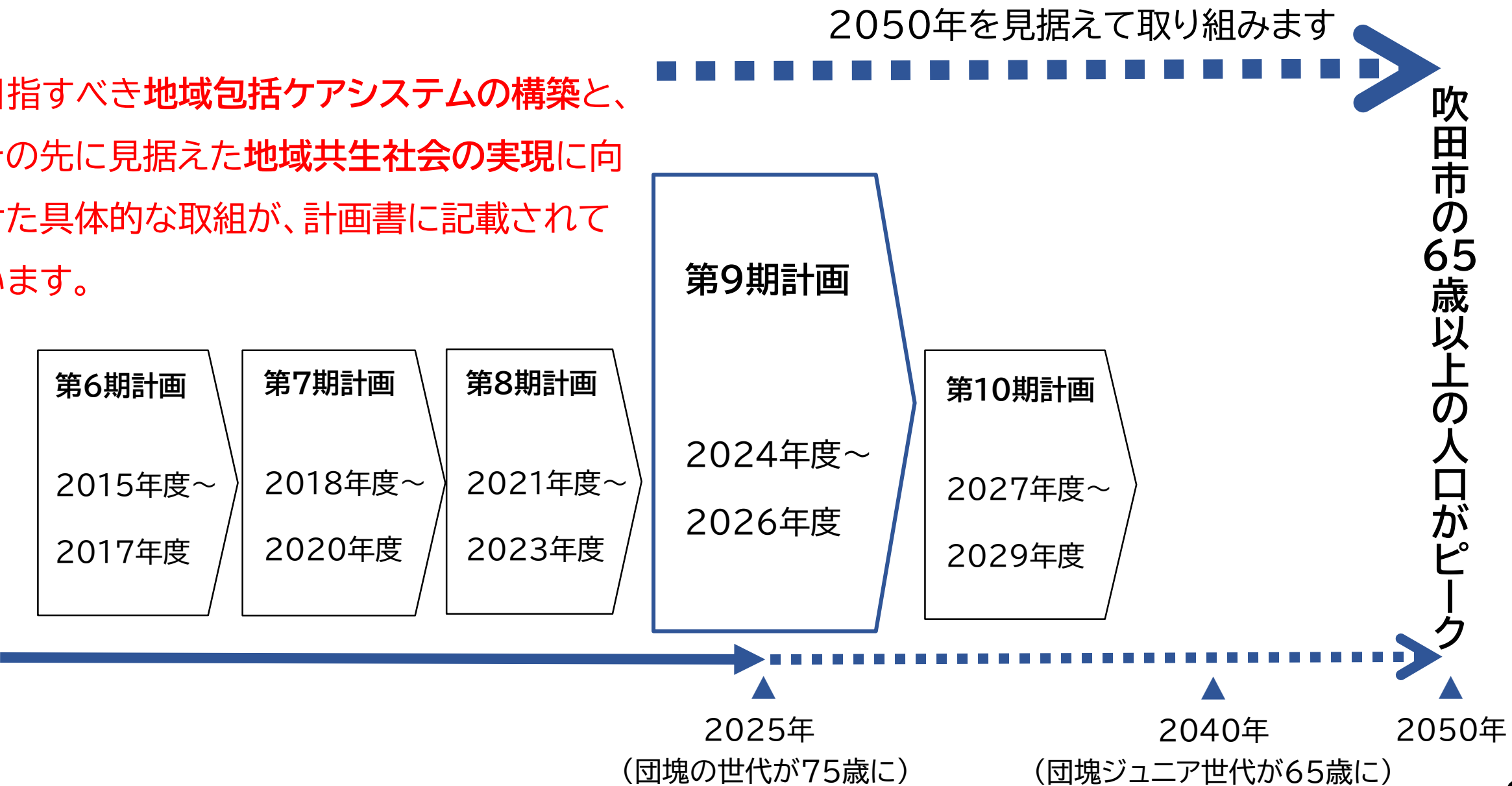
（4）その他

3 閉会



吹田健やか年輪プランとは

目指すべき地域包括ケアシステムの構築と、
その先に見据えた地域共生社会の実現に向
けた具体的な取組が、計画書に記載されて
います。



吹田健やか年輪プラン策定にかかるスケジュール

計画 期間	年次	年度	吹田市高齢者保健福祉施策・ 介護保険事業推進本部			吹田市社会福祉審議会 高齢者保健福祉計画・ 介護保険事業計画推進 専門分科会	主な取組内容 (2025年度以降は予定)
			作業部会	幹事会	本部会		
第 9 期	1	2024	—	12/24	1/27	2/10	・第8期計画結果報告・第9期計画年次報告
	2	2025	—	—	—	—	・計画策定支援業務に係るプロポーザルの実施(2025.6～9頃)
			—	12月頃	12月頃	12月頃	・第9期計画年次報告 ・高齢者等の生活と健康に関する調査の項目検討
			—	—	—	—	・高齢者等の生活と健康に関する調査の実施(2026.2頃) ・介護人材の確保にかかる実態調査の実施(2026.2頃)
	3	2026	—	6月頃	6月頃	6月頃	・高齢者等の生活と健康に関する調査結果の確認 ・第10期の将来像、基本目標の基本方針の確認 ・高齢者を取り巻く状況の把握(高齢者・認定者の人口の推移等)
			8月頃	—	—	—	・基本目標ごとの内容の検討
			—	9月頃	—	9月頃	・作業部会の検討事項をうけ、第10期計画素案の検討 ・第9期計画の進捗状況の報告
			—	10月頃	10月頃	10月頃	・第10期計画素案の検討・介護保険料の検討
			—	—	—	—	・パブリックコメントの実施(2026.12頃)
			—	—	1月頃	1月頃	・パブリックコメントを反映した第10期計画案の完成 ・介護保険料の最終確認
			—	—	—	—	・条例改正案の提案(介護保険料の改定)(2027.2) ・第10期計画の策定(2027.3)

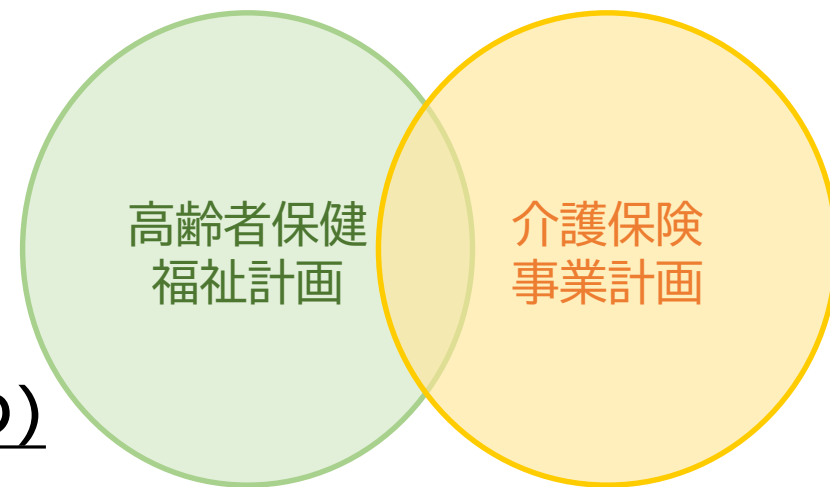
第9期吹田健やか年輪プランのポイント

1 本市の特徴をつかむ(3つ)

- ① 2050年には、**3人に1人**が高齢者となる
- ② **認知症**は他人ごとではない
- ③ 介護人材不足！**約6割の事業所が不足**を感じている

2 第9期計画はこれに取り組んでいきます！(3つ)

- ① 介護サービス基盤の**計画的な整備**
- ② **地域包括ケアシステム**の深化・推進
- ③ **介護人材確保策**の推進



吹田健やか年輪プランのイメージ

特徴① 2050年には、3人に1人が高齢者となる

全国では2040-2045年頃がピーク

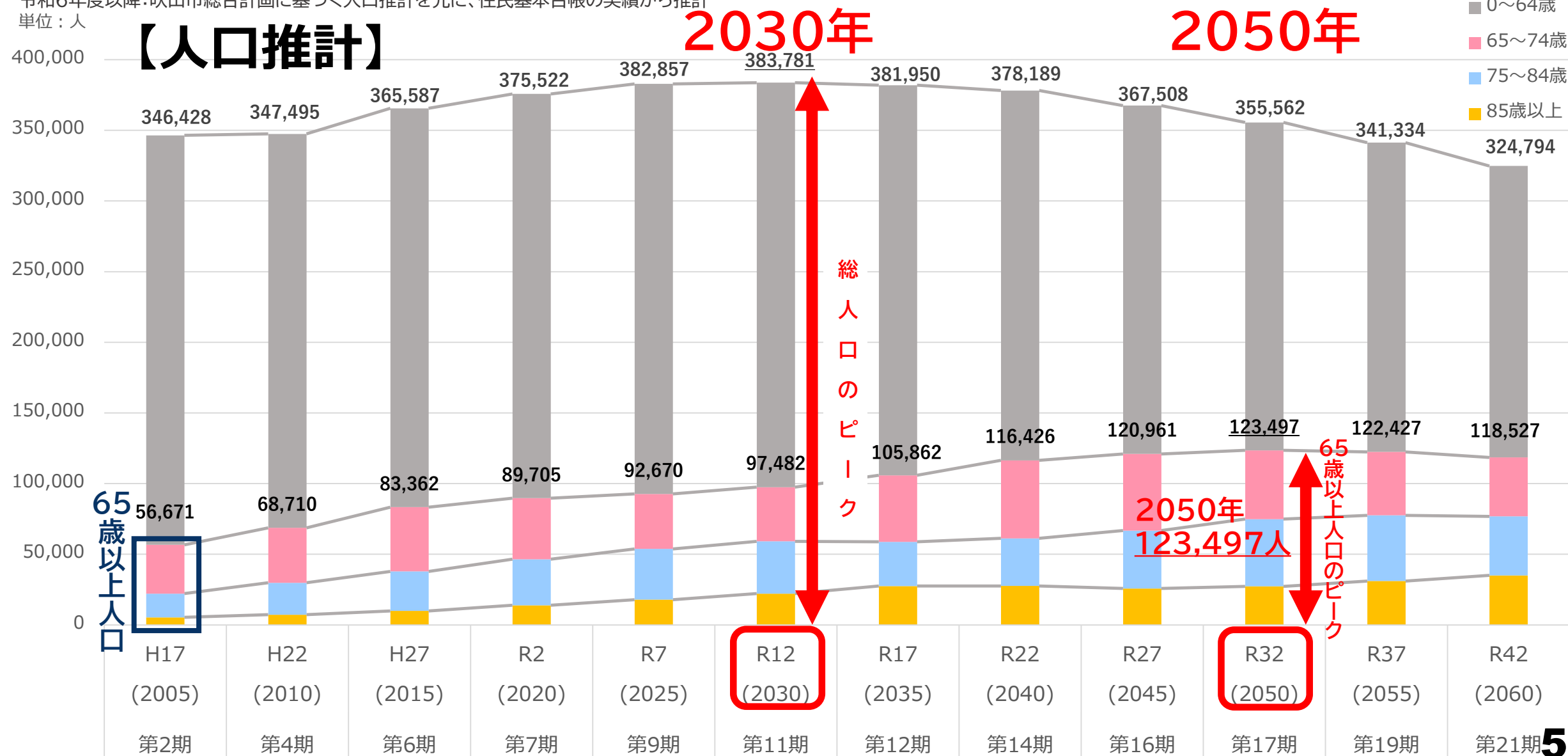
資料

令和5年度まで：住民基本台帳（各年9月末現在）

令和6年度以降：吹田市総合計画に基づく人口推計を元に、住民基本台帳の実績から推計

単位：人

【人口推計】



特徴① 2050年には、3人に1人が高齢者となる

資料

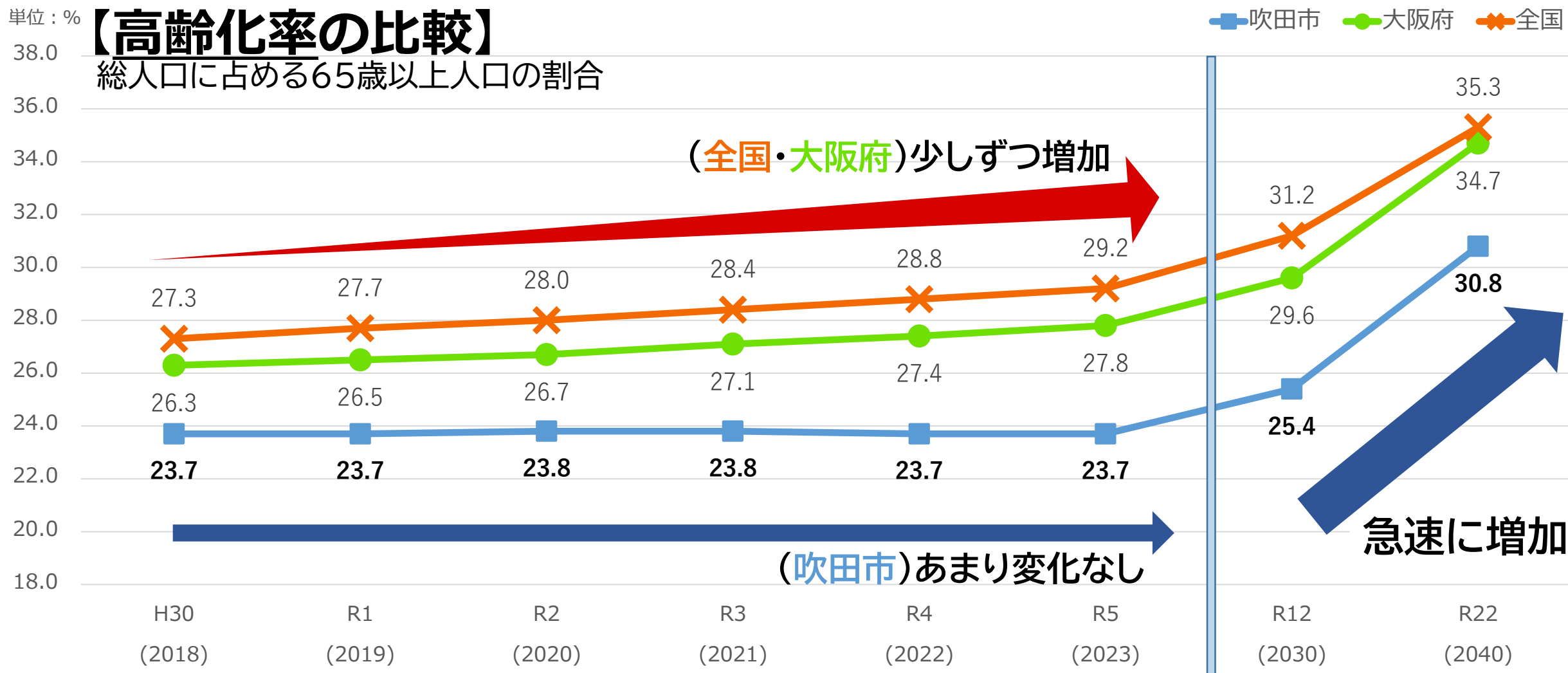
出典:地域包括ケア「見える化」システム(令和5年11月調べ)、

及び総務省「国勢調査」および国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

単位: %

【高齢化率の比較】

総人口に占める65歳以上人口の割合



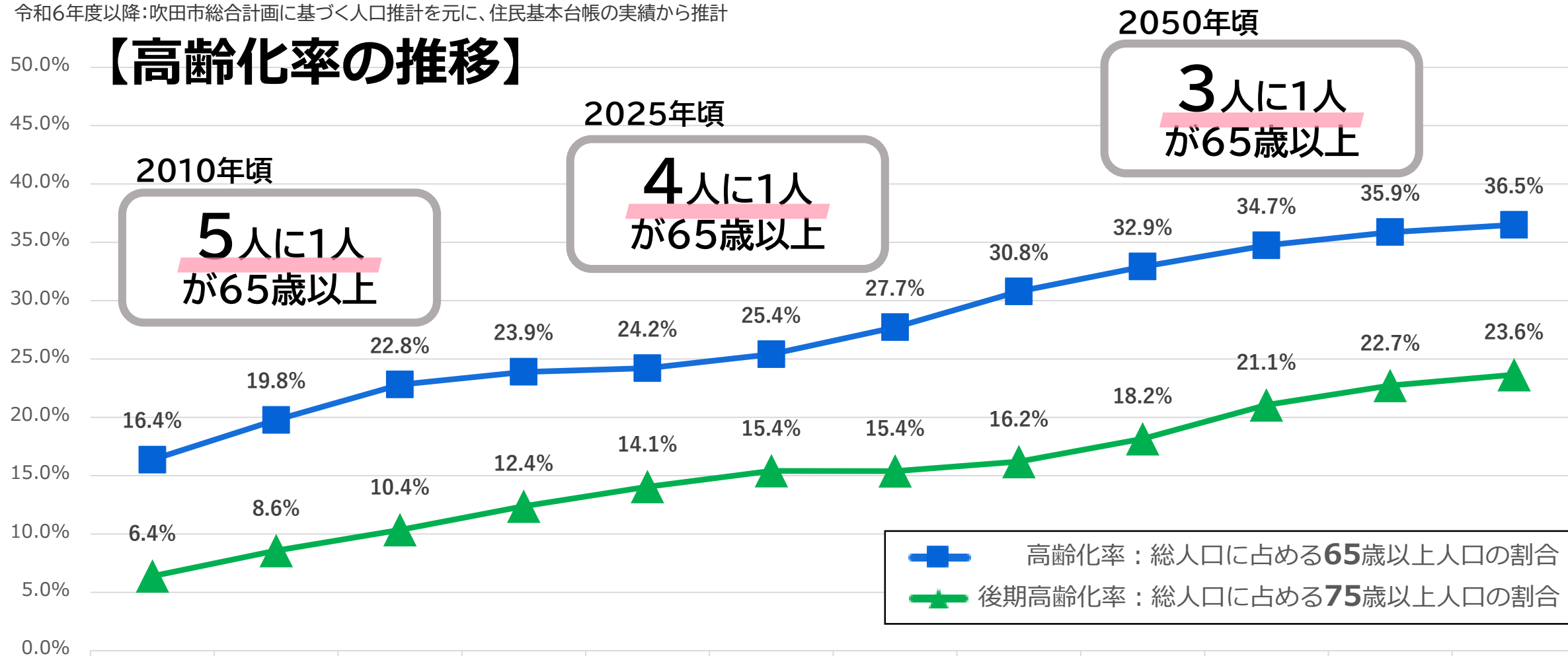
特徴① 2050年には、3人に1人が高齢者となる

資料

令和5年度まで：住民基本台帳（各年9月末現在）

令和6年度以降：吹田市総合計画に基づく人口推計を元に、住民基本台帳の実績から推計

【高齢化率の推移】



H17 (2005)	H22 (2010)	H27 (2015)	R2 (2020)	R7 (2025)	R12 (2030)	R17 (2035)	R22 (2040)	R27 (2045)	R32 (2050)	R37 (2055)	R42 (2060)
第2期	第4期	第6期	第7期	第9期	第11期	第12期	第14期	第16期	第17期	第19期	第21期

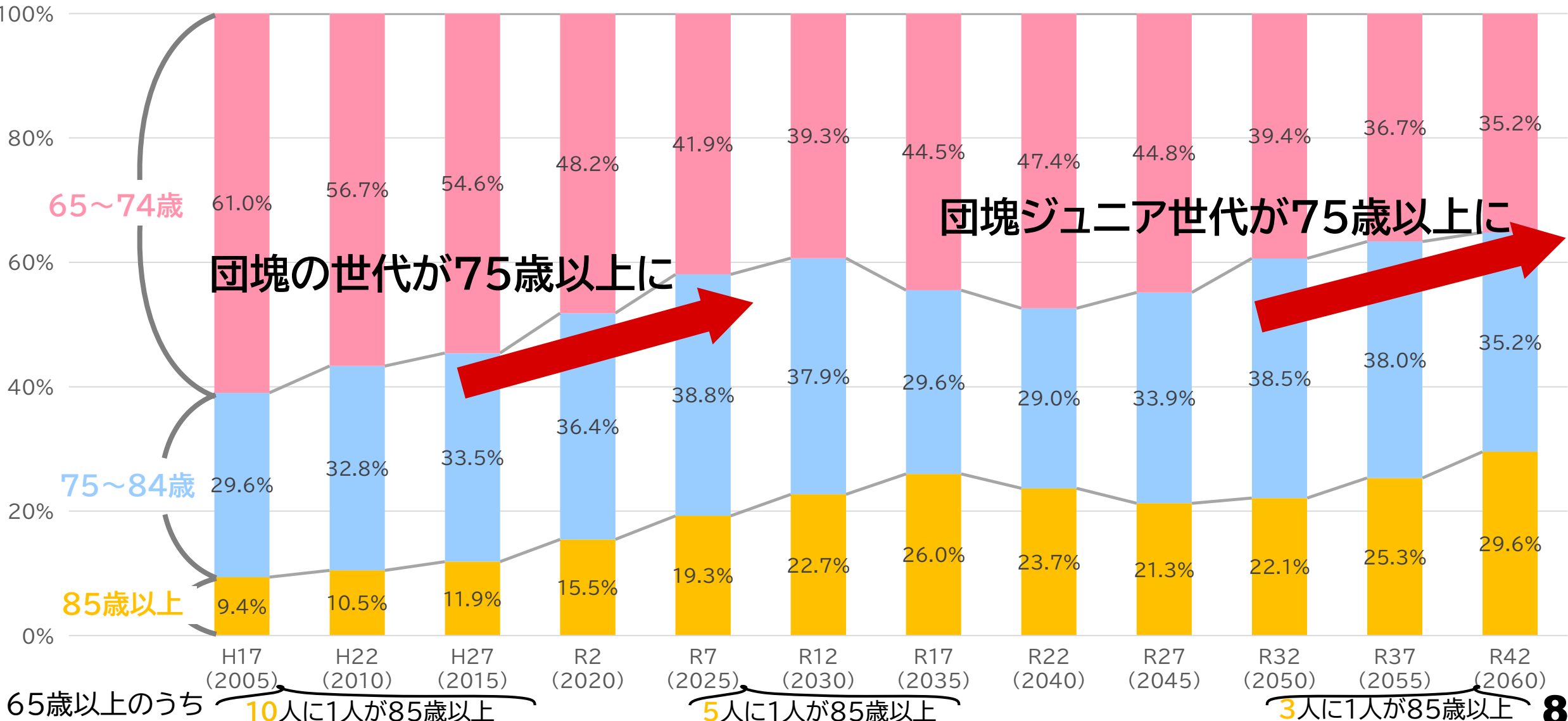


特徴① 2050年には、3人に1人が高齢者となる

資料
令和5年度まで：住民基本台帳(各年9月末現在)
令和6年度以降：吹田市総合計画に基づく人口推計を元に、住民基本台帳の実績から推計

【高齢者の割合】

65～74歳
75～84歳
85歳以上



特徴① 2050年には、3人に1人が高齢者となる

資料

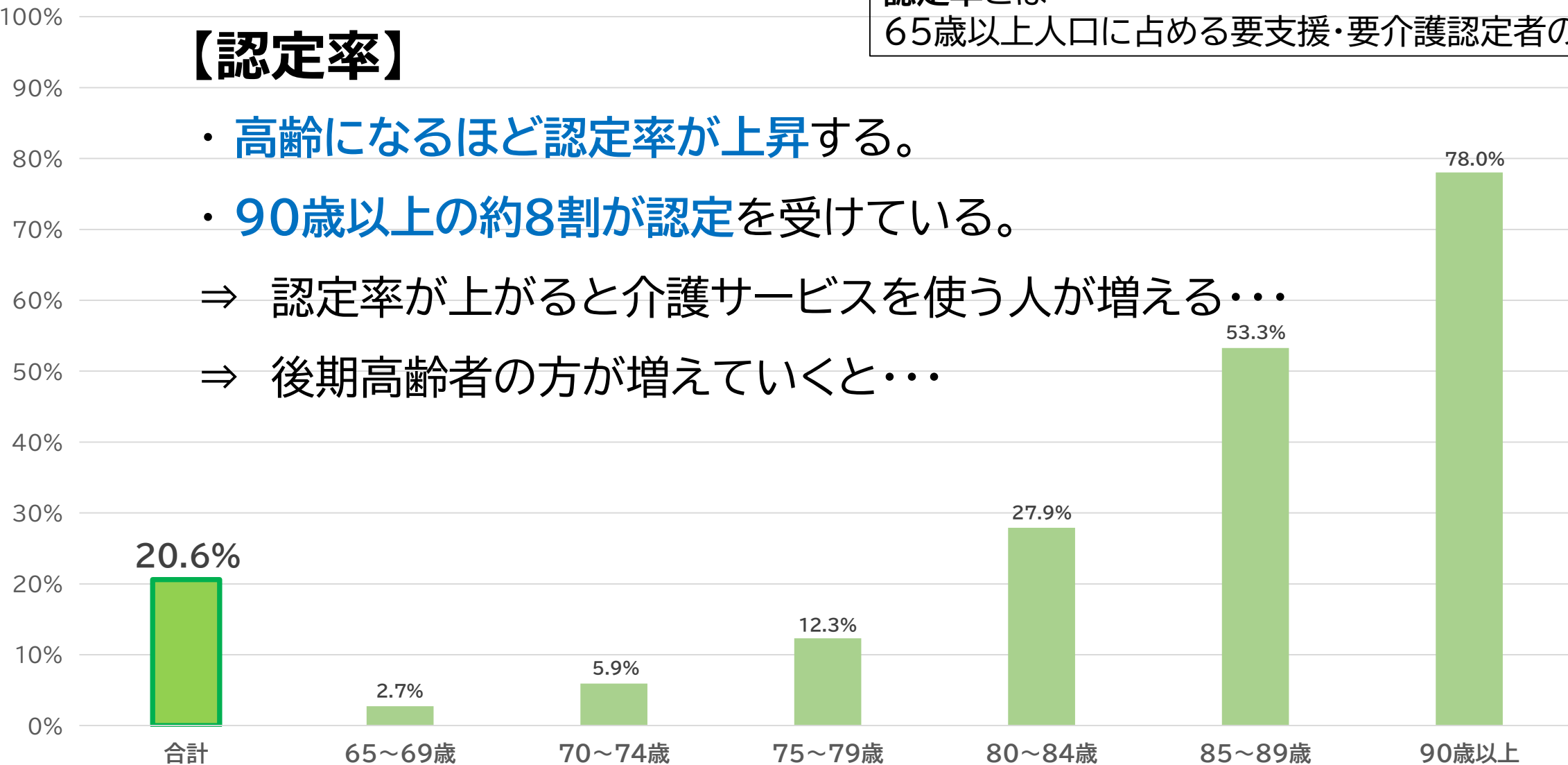
出典:地域包括ケア「見える化」システム(令和5年11月調べ)

認定率とは・・・

65歳以上人口に占める要支援・要介護認定者の割合

【認定率】

- ・ 高齢になるほど認定率が上昇する。
 - ・ 90歳以上の約8割が認定を受けている。
- ⇒ 認定率が上がると介護サービスを使う人が増える・・・
- ⇒ 後期高齢者の方が増えていくと・・・





特徴① 2050年には、3人に1人が高齢者となる

資料

令和2年度まで：高齢者事業概要より

令和3年度及び令和4年度：地域包括ケア「見える化」システムより抽出

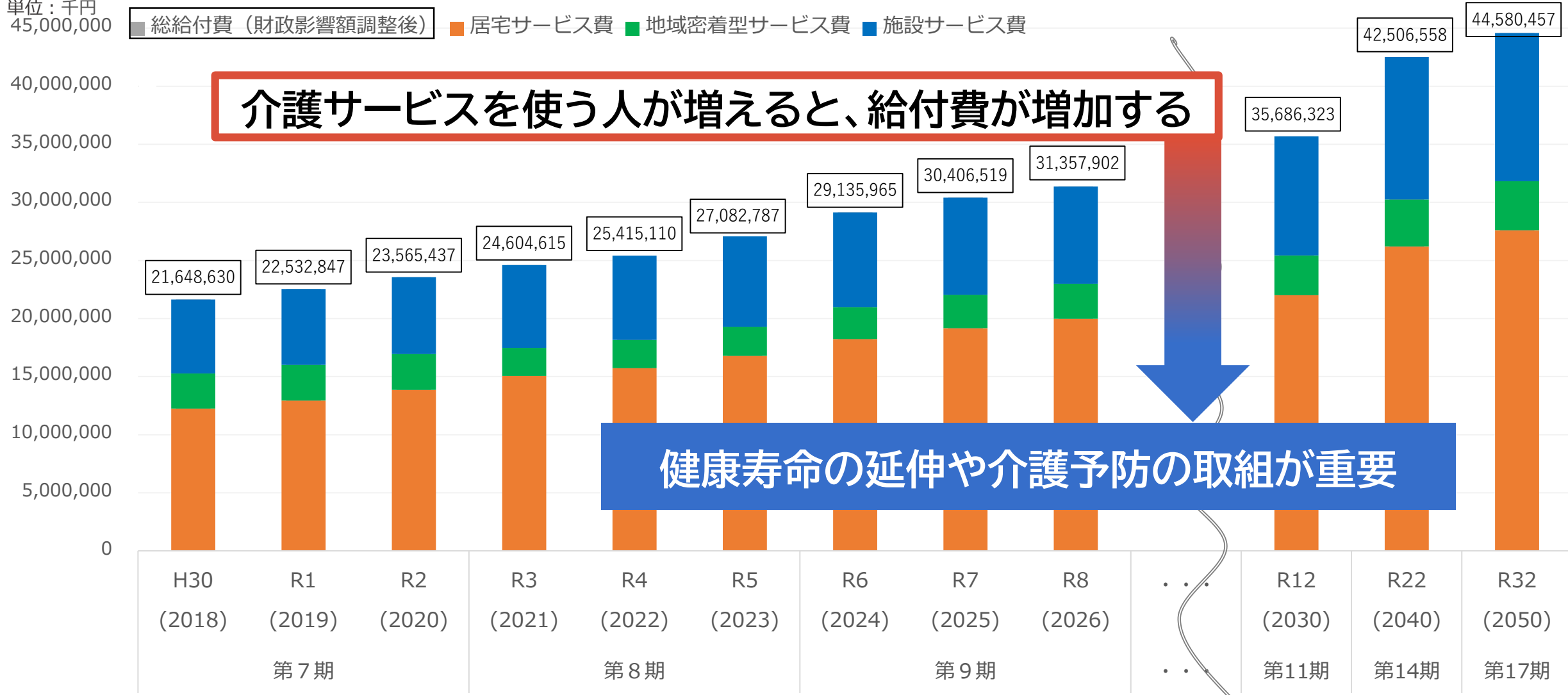
令和5年度以降：地域包括ケア「見える化」システムにより推計

単位：千円

45,000,000

■ 総給付費（財政影響額調整後） ■ 居宅サービス費 ■ 地域密着型サービス費 ■ 施設サービス費

【介護給付費の推移と推計】

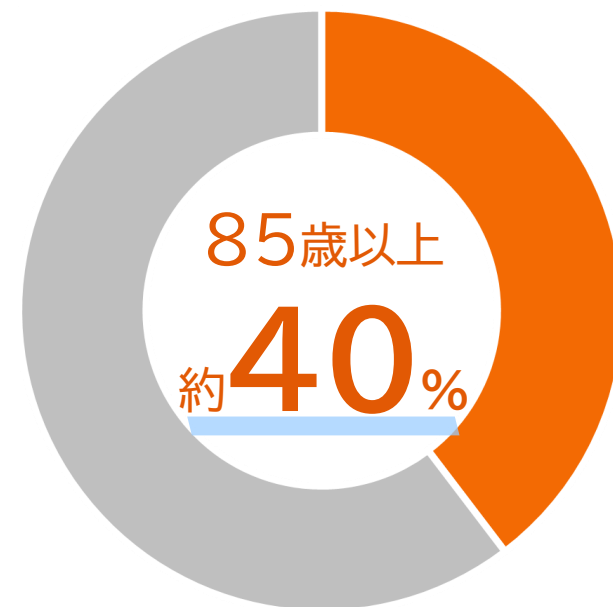
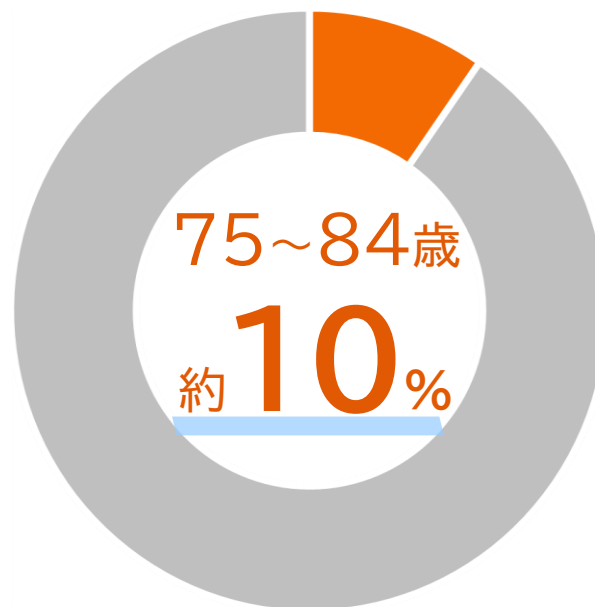
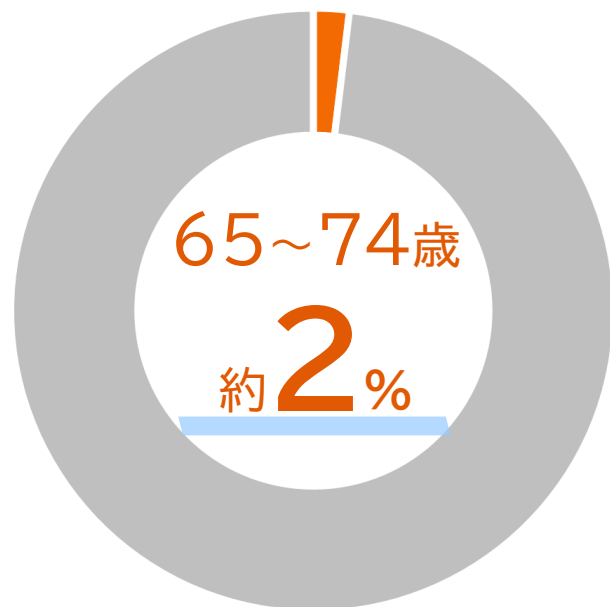


特徴② 認知症は他人ごとではない 【認知症の人の割合】

- ・本市において、**85歳以上では約40%が認知症**となっている。
- ・簡易生命表（厚労省、2022）では、最多死亡数の年齢は男性88歳、女性93歳。
- ・2025年には全国で700万人、**65歳以上の人の約5人に1人に達する**見込み（厚労省、2017）

⇒今や認知症は誰もがなりうる身近な病気 **認知症は他人ごとではありません！**

認知症の人の割合(※)



※ 資料：認定データ(吹田市、2023年)

特徴② 認知症は他人ごとではない 【高齢者等の生活と健康に関する調査】

高齢者等の生活と健康に関する調査
「めざすまちの姿に対する評価」(複数回答)

認知症の人を支えるまちになっている、
認知症になっても安心して暮らすことができる

「そう思う」「どちらかというと思う」と
回答した人の割合

様々な取組を行っているのだが・・・

認知症サポーターの養成・支援

認知症ケアパス

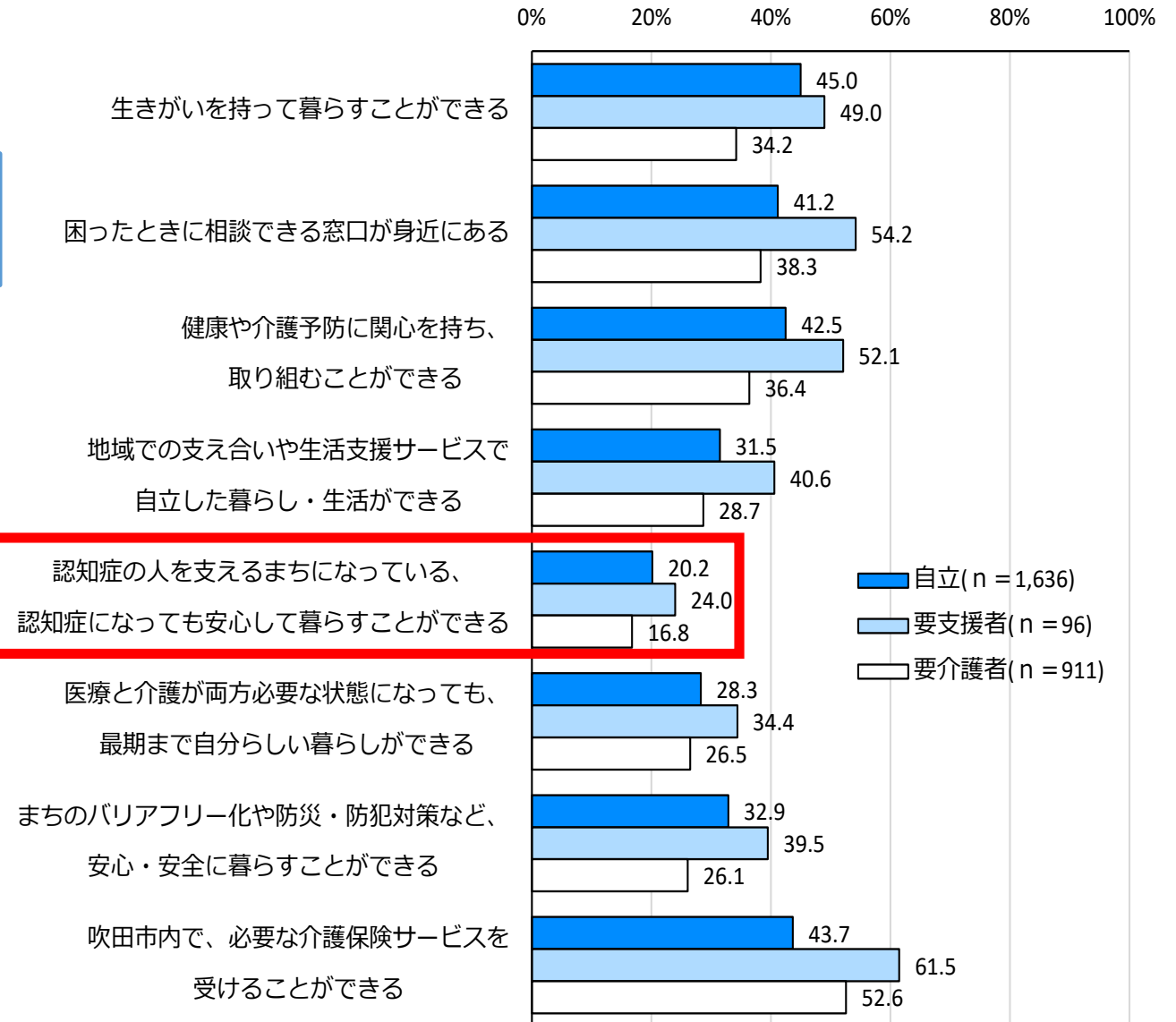
認知症地域支援推進員による啓発

認知症カフェ

認知症初期集中支援チームによる支援

みまもりあいステッカー＆アプリの展開

情報の
周知

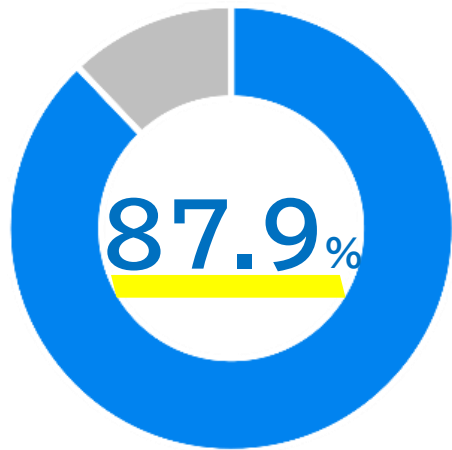


特徴③ 介護人材不足！約6割の事業所が不足を感じている

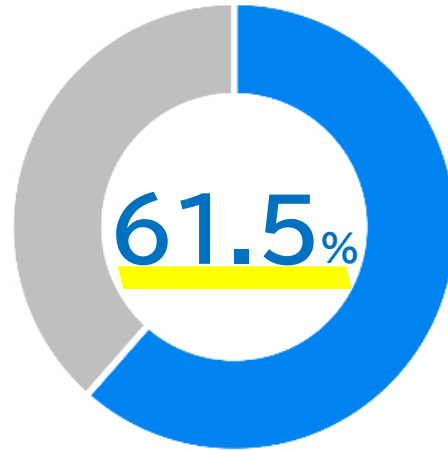
近年、介護人材不足が全国的な問題となっています。吹田市における介護現場の状況を把握するため、令和5年（2023年）3月に市内介護サービス事業者等にアンケートを実施しました。

従業員の不足感

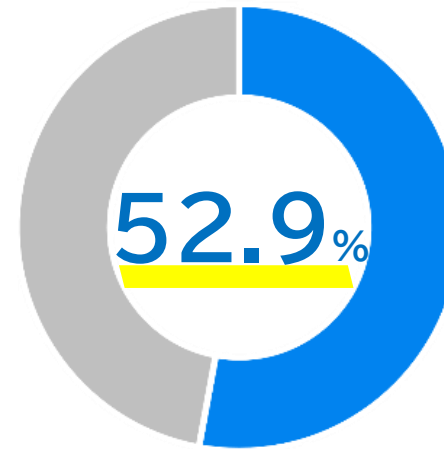
従業員の不足を感じている事業者について、職種別にみると、訪問介護員で87.9%、介護職員で61.5%、ケアマネジャーで52.9%、看護職員で48.5%にのぼります。



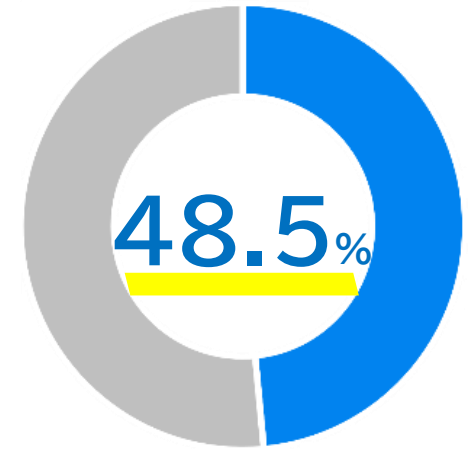
訪問介護員



介護職員(訪問介護員以外)



ケアマネジャー



看護職員

その他、アンケート結果からみる介護現場の状況は・・・

従業員確保で工夫していること

- 1位 本人の希望に応じた勤務体制
- 2位 労働条件の改善への取組

従業員確保のために実施したいこと

- 1位 福祉教育機関への働きかけ
- 2位 採用説明会や職場体験の実施

特徴③ 介護人材不足！約6割の事業所が不足を感じている

【介護人材の需要・供給推計】

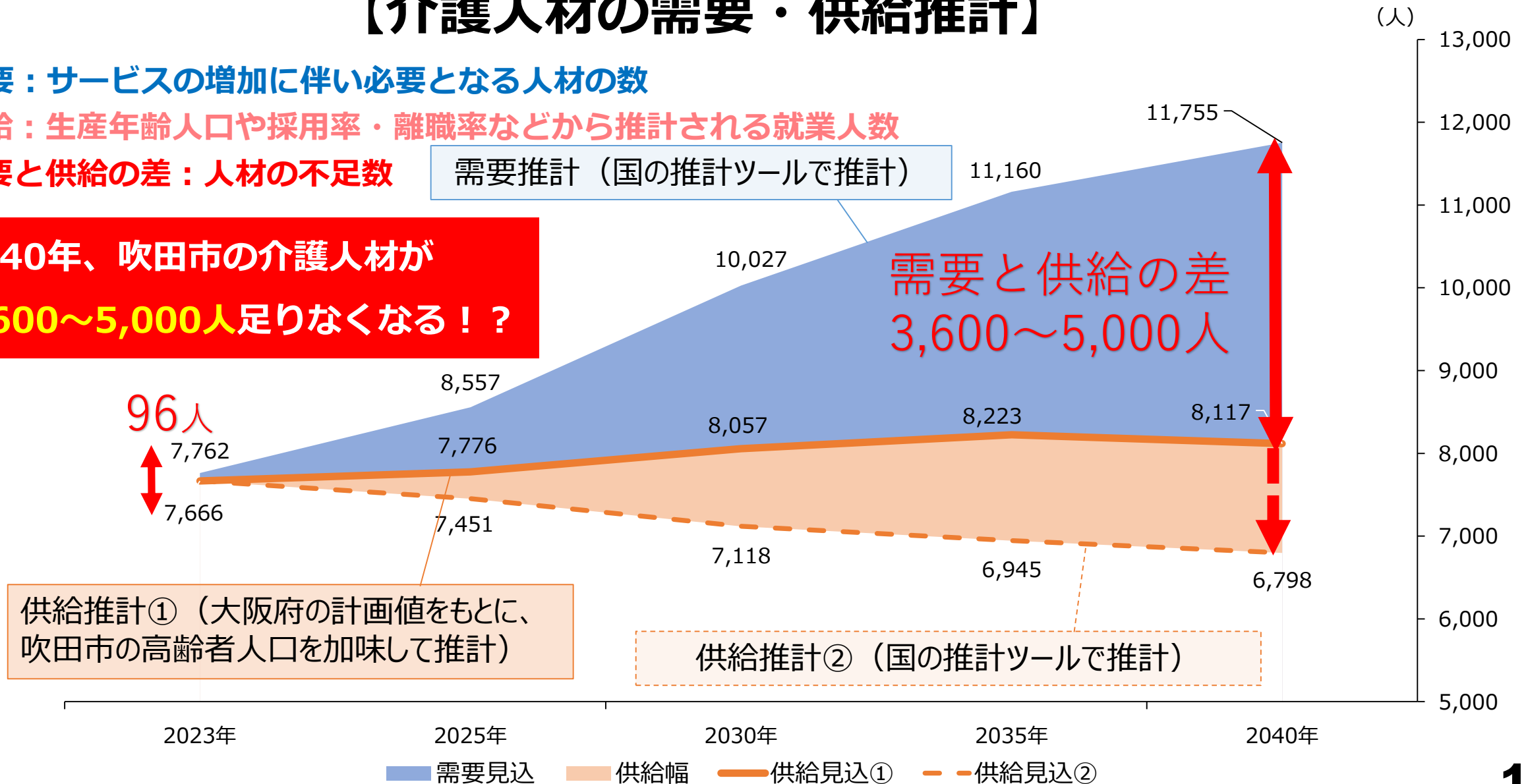
需要：サービスの増加に伴い必要となる人材の数

供給：生産年齢人口や採用率・離職率などから推計される就業人数

需要と供給の差：人材の不足数

需要推計（国の推計ツールで推計）

2040年、吹田市の介護人材が
3,600～5,000人足りなくなる！？



■ 1 本市の特徴をつかむ(まとめ)

- ① 2050年には、3人に1人が高齢者となる
- ② 認知症は他人ごとではない
- ③ 介護人材不足！約6割の事業所が不足を感じている

2 第9期計画はこれに取り組んでいきます！（第9期計画の課題）

① 介護サービス基盤の計画的な整備

中長期的な人口動態や介護ニーズの見込み等を捉えた上で、介護サービス基盤の**計画的な確保**。

② 地域包括ケアシステムの深化・推進

地域共生社会の実現に向け、**制度・分野の枠や「支える側」「支えられる側」という関係を超えた**、中核的な基盤となる地域包括ケアシステムの強化。

③ 介護人材確保策の推進

地域包括ケアシステムを支える**介護人材不足の解消**にむけた総合的な介護人材確保策の推進。



2 第9期計画はこれに取り組んでいきます！

① 介護サービス基盤の計画的な整備

中長期的な人口動態や介護ニーズの見込み等を捉えた上で、介護サービス基盤の計画的な確保。

介護ニーズ
・認知症高齢者の増加に対応
・終末期ケアや看取りに対応
・在宅介護の限界点を引き上げる
・医療への依存を低下させたい
・介護する家族を助けたい
(介護離職、家族のレスパイトなど)

サービス種別 在宅療養の支援		第8期		第9期	
		計画数	整備数 (開設準備中含む)	計画数	R6選定済数
(1)	小規模多機能型居宅介護	1か所	1か所	0か所	0か所
(2)	看護小規模多機能型居宅介護	1か所	0か所	1か所	1か所
(3)	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1か所	1か所	1か所	1か所
(4)	認知症高齢者グループホーム	2か所 (6ユニット)	2か所 (5ユニット)	1か所 (3ユニット)	1か所 (3ユニット)
(5)	小規模特別養護老人ホーム	2か所	2か所	0か所	0か所

認知症支援の推進

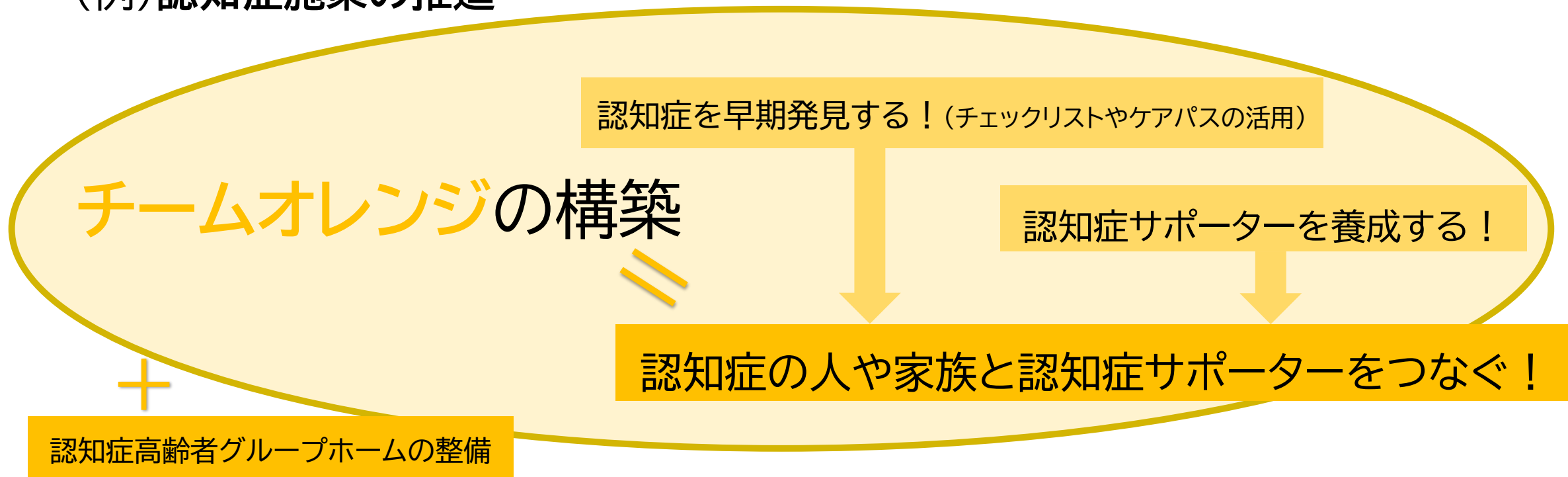
(計画策定ごとに計画数を見直しています)

2 第9期計画はこれに取り組んでいきます！

② 地域包括ケアシステムの深化・推進

地域共生社会の実現に向け、**制度・分野の枠**や「**支える側**」「**支えられる側**」という関係を超えた、中核的な基盤となる地域包括ケアシステムの強化。

(例)認知症施策の推進



2 第9期計画はこれに取り組んでいきます！

③ 介護人材確保策の推進

地域包括ケアシステムを支える**介護人材不足の解消**にむけた総合的な介護人材確保策の推進。

介護人材の資質向上

介護職員等喀痰吸引等研修
(実地研修)

「介護フェア」、市報すいた、
連携機関との介護の仕事の
魅力発信

介護の仕事の魅力発信

資格取得支援事業補助金

- ・介護職員初任者研修
- ・介護福祉士実務者研修
- ・介護福祉士試験

就職面接会・説明会・セミナーの開催

- ・ハローワークとの連携
- ・JOBナビすいたとの連携

定着促進・離職防止

介護現場でのハラスメント防止の啓発

新加算対応！

介護職員等処遇改善支援事業

R6新規事業！

介護保険サービス事業所
人材確保支援事業

参入促進

➡ より効果的な介護人材確保策を検討していきます

1 第8期吹田健やか年輪プラン(2021-2023)における評価結果

(1)評価結果・分析

第8期吹田健やか年輪プランに掲げたロードマップについて、2023年度末時点の評価を3段階(A～C)で実施しました。数値目標を掲げていない場合は、その目標に向けての取組のプロセスを評価しました。

やや目標値を下回った(B)、取組が不十分・未実施(C)が多くなった要因として、新型コロナウイルス感染症の影響により、計画どおりに取組を進めることができなかったことがあげられます。

基本目標	A	B	C
1 生きがいつくりと健やかな暮らしの充実	1	5	1
2 相談支援体制の充実	4	3	0
3 介護予防の推進	2	1	3
4 自立した暮らしの実現に向けた支援の充実	5	1	1
5 認知症支援の推進	7	2	0
6 在宅医療と介護の連携の推進	3	4	0
7 安心・安全な暮らしの充実	4	2	1
8 介護サービスの充実・介護保険制度の持続可能な運営	5	2	2
合計(59項目)	31	20	8

評価基準 A:目標を達成した、B:やや目標値を下回った、C:取組が不十分・未実施

(2)ロードマップ指標において評価がCとなったもの

基本 目標	施策の 方向	指標	実績 (2023年度)	目標 (2023年度)
1	1	地区公民館主催講座延べ受講者数	39,073人	57,294人
3	2	いきいき百歳体操実施グループ数	172グループ	300グループ
		いきいき百歳体操参加者数 (活動支援1回目)	2,327人	4,500人
		介護予防推進員登録者数	127人	202人
新型コロナウイルス感染症の影響が残っており、目標達成には至らなかった				
4	4	介護を理由に退職した介護者	12.4%	0%
引き続き、様々な支援策を進めていくことが必要				
7	3	特殊詐欺被害件数	130件	0件
依然被害は続いているため、庁内の連携による啓発が引き続き必要				
8	2	「社会福祉法人等による利用者負担軽減事業」の実施申出をしている市内の社会福祉法人の割合	50.0%	80%
引き続きホームページ等で募集・告知していく				
8	3	看護小規模多機能型居宅介護整備箇所数	2か所	3か所
事業者による介護人材・土地・資金等の確保が難しく、目標達成に至らなかった				

2 第9期吹田健やか年輪プラン(2024-2026)の進捗状況

(1)評価結果・分析

第9期吹田健やか年輪プランで設定した指標について、2024年9月末時点での評価を3段階(A～C)で実施しました。数値目標を掲げていない場合や、調査結果を目標としている場合は、その目標に向けての取組のプロセスを評価しています。

2024年度の目標を達成する見込みのある指標がある一方、新型コロナウイルス感染症の影響が残っている指標や、実績が伸び悩んでいる指標も見受けられます。指標達成に向けて引き続き取組を進めていきます。

地域密着型サービスの整備については、指標の目標達成に向けて、施設整備の補助金等を活用しながら、着実に整備できるよう進めていきます。

基本目標		A	B	C
1	生きがいと健康づくり・介護予防の推進	6	6	1
2	地域における支援体制の充実	11	0	0
3	認知症施策の推進	3	3	0
4	生活支援・介護保険サービスの充実	5	7	2
5	安心・安全な暮らしの充実	3	3	1
合計(51項目)		28	19	4

評価基準 A:順調に進んでいる、B:やや目標値を下回っている
C:改善が必要又は今後取り組む必要がある

(2)第9期計画の指標において評価がCとなったもの

基本目標	施策の方向	指標	実績 (2024.9末)	目標 (2024年度)
1	1	地区公民館主催講座延べ受講者数	17,973人	56,896人
4	1	居宅	0事業所	3事業所
		通所型	2事業所	4事業所
		訪問型	0事業所	2事業所
4	4	「社会福祉法人等による利用者負担軽減事業」の実施申出をしている市内の社会福祉法人の割合	50.0%	80.0%
7	3	特殊詐欺被害件数	93件	0件

3 介護給付費の分析(2023年度)

項目		対計画比率	実績値	計画値	比較
(1)	人口	101.0%	382,491	378,603	おおむね計画値どおりに推移
(2)	高齢者人口(人)	100.7%	90,746	90,082	おおむね計画値どおりに推移
(3)	高齢化率	99.6%	23.7%	23.8%	おおむね計画値どおりに推移
(4)	認定率	99.5%	20.6%	20.7%	おおむね計画値どおりに推移
(5)	標準給付費(千円)	95.2%	28,417,522	29,842,703	計画値を下回って推移
(6)	居宅サービス費	102.0%	16,668,512	16,338,995	おおむね計画値どおりに推移
(7)	地域密着型サービス費	70.5%	3,475,748	4,932,919	計画値を下回って推移
(8)	施設サービス費	98.9%	6,899,369	6,973,274	計画値をやや下回って推移
(9)	その他サービス費等	86.0%	1,373,893	1,597,515	計画値を下回って推移
(10)	地域支援事業費(千円)	86.4%	1,641,599	1,899,076	計画値をやや下回って推移

<事務局コメント>

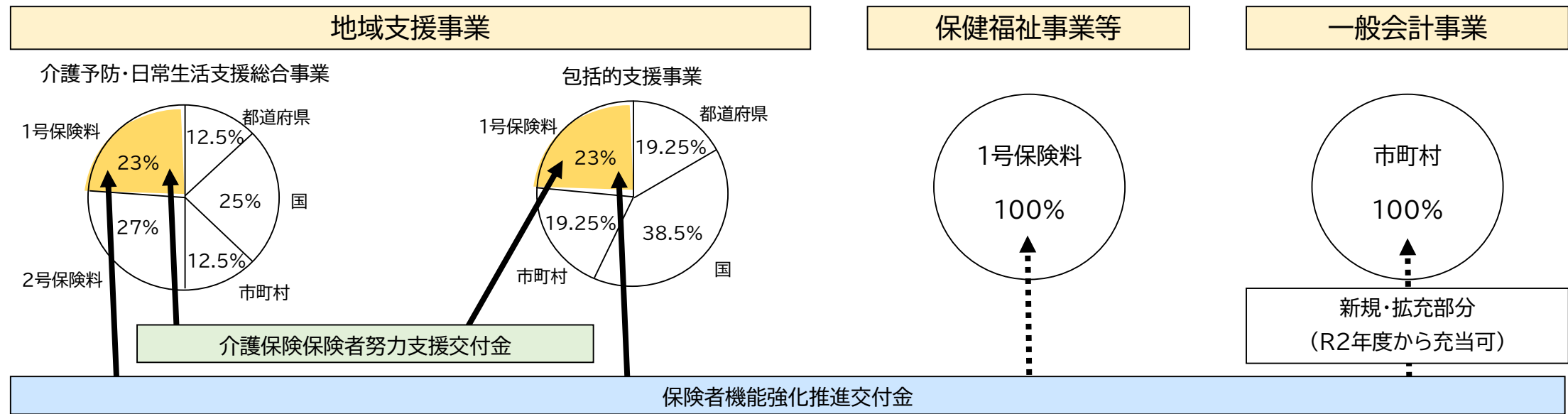
- ・人口、高齢者人口、高齢化率及び認定率 → おおむね計画値どおりに推移しました。
- ・標準給付費及び地域支援事業費 → 一部のサービスにおいて新型コロナウイルス感染症拡大の影響が未だ残っており、実績が伸びなかったと考えています。
- ・地域密着型サービス費 → 介護人材不足等により施設整備が進まなかったことも計画値を下回った一因と考えられます。

4 保険者機能強化推進交付金及び介護保険保険者努力支援交付金について

(1) 交付金の概要

名称	保険者機能強化推進交付金	介護保険保険者努力支援交付金
創設時期	平成30年(2018年)4月	令和2年(2020年)4月
目的	市町村の高齢者の自立支援、重度化防止等に関する取組を推進	市町村の予防・健康づくりに資する取組に重点化して支援
国による交付額の決定	市町村の様々な取組の達成状況を評価できるよう、国が設定する評価指標の達成状況(評価指標の総合得点)に応じて、市町村への交付額が決定される。	
本市での活用	保険者機能強化推進交付金については、既存の地域支援事業の第1号保険料相当部分に充当し、それにより余剰となる第1号保険料を介護給付費準備基金に積み立てている。また、介護保険保険者努力支援交付金は、地域支援事業拡充部分の第1号保険料相当部分にも充当することで活用している。	

(2) 交付金の活用イメージ



4 保険者機能強化推進交付金及び介護保険保険者努力支援交付金について

(3)本市における評価指標の達成状況(前年度に評価し、当年度に内示)

名称	評価指標		令和6年度(令和5年度に評価済、内示済)	
保険者機能強化 推進交付金 (A)	内示額		22,555千円	
	Ⅰ 持続可能な地域のあるべき姿をかたちにする		70/100点	202/400点
	Ⅱ 公正・公平な給付を行う体制を構築する		20/100点	
	Ⅲ 介護人材の確保その他のサービス提供基盤の整備を推進する		67/100点	
	Ⅳ 高齢者がその状況に応じて可能な限り自立した日常生活を営む		45/100点	
介護保険保険者 努力支援交付金 (B)	内示額		51,466千円	
	Ⅰ 介護予防/日常生活支援を推進する		70/100点	251/400点
	Ⅱ 認知症総合支援を推進する		62/100点	
	Ⅲ 在宅医療・在宅介護連携の体制を構築する		74/100点	
	Ⅳ 高齢者がその状況に応じて可能な限り自立した日常生活を営む		45/100点	
合計(A+B)		内示額	74,021千円	
		評価点数	453/800点	

※令和6年度の府内平均は448.37点。吹田市は43保険者中22位。



第9期吹田健やか年輪プラン (吹田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画)

＼ 冊子データはこちらから ／



吹田市福祉部高齢福祉室

〒564-8550 吹田市泉町1丁目3番40号

電話 06-6384-1231(代表)